

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年9月2日（月）

2 確認箇所

- ・大型土嚢（豪雨対応緊急資材）保管場所（K3タンクエリア西側）
大型土嚢（豪雨対応緊急資材）設置予定場所
（1号機～4号機建屋北西側）
- ・2号機原子炉建屋西側ヤード（1/2号機共用排気筒解体部材仮置き）

3 確認項目

- （1）緊急的な豪雨リスク対策の状況
- （2）1/2号機共用排気筒解体部材の仮置き状況

4 確認結果の概要

（1）緊急的な豪雨リスク対策の状況について

東京電力は、近年国内で頻発している大規模な降雨に備え、豪雨時における敷地内の施設への影響を把握するため、敷地内浸水解析や斜面安定解析などの検討を進めている。一方、緊急的な豪雨リスク対策として、300～500mm程度の降雨が予想される場合には、地形的に降雨が集まると想定される大熊通り下端（1号機～4号機建屋北西側、写真1）に大型土嚢を設置し、1～4号機建屋方向への表流水の流入を抑制することになっていることから、大型土嚢の準備状況等を確認した。

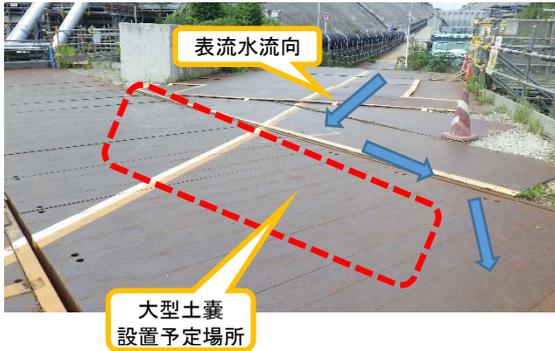
- ・K3タンクエリア西側の区画されたエリアに、24袋の大型土嚢が保管されていた。（写真2）



（写真1-1）

大熊通り下端の状況

（西側から撮影）



(写真 1 - 2)
大型土嚢設置予定場所
(東側から撮影、写真右側が 1 ~ 4 号機建屋方向)



(写真 2)
大型土嚢の保管状況

(2) 1 / 2 号機共用排気筒解体部材の仮置き状況について

1 / 2 号機共用排気筒については、8 月 30 日に頂部ブロックの解体作業が再開され、9 月 1 日に、頂部ブロックの切断が終了し、当該ブロックが地上に吊り下ろしされたことから、仮置き状況を確認した。

- ・切断された頂部ブロックは、筒身部分がシートで養生され、転倒防止のためレバーブロックで敷鉄板に固縛されて、2 号機原子炉建屋西側ヤードの一面に仮置きされていた。(写真 3)



(写真 3 - 1)
頂部ブロックの仮置き状況①



(写真 3 - 2)
頂部ブロックの仮置き状況②

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。